

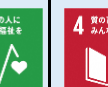
SDGs達成に向けた取組チェックリスト

【基本的な事項】

- ・ 期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
- ・ 期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

【基本的な事項】				・ 期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。														様式第3号			
カテ ゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・ 労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・性別、年齢、人種、出身等による差別を防止するため、社内での周知や啓発に取り組んでいる。 ・【予定】就業規則等への明文化や運用体制の整備を進めていく					○			○		○						○	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・以下の規程を定め、社内ホームページに掲載し周知、社内外に相談窓口を設置し周知 ・就業規則 ・内部通報制度運用規程 ・ハラスメント行為に対する基本方針 ・パワーハラスメント防止対策 ・セクシャルハラスメント防止対策 ・全社員を対象にハラスメント防止教育を年1回実施					○			○								○	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・「就業規則」及び労使協定に基づき労働時間を適切に管理し、長時間労働の抑制に向けた監視及び勤務体系の整備を実施 ・長時間労働該当者には産業医面談等を実施し、健康維持に努めている								○									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・「企業行動基準」にて、外国人労働者を含め、多様な人材の人権尊重を推進している ・【予定】外国人労働者を含め、すべての従業員の人権尊重に関する方針の策定を進めている				○				○		○							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・「安全衛生規則」に定め周知、事業所に「安全衛生委員会」を設置し、5Sの推進、職場巡視を実施、長時間労働対策、職場環境の改善等を推進 ・リスクアセスメント手順の整備を進めるとともに、作業における危険性の特定および低減対策を推進している			○					○									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・「心の健康づくり計画」を社内ホームページに掲載し周知 ・産業医への相談窓口/月1回、ストレスチェック調査実施/年1回 ・「ストレスチェック制度実施規程」を定め運用 ・動画配信やポスター掲示等により、全社的なメンタルヘルス対策の周知・啓発を継続的に実施			○														
	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・「就業規則」および「企業行動基準」に基づき、多様な人材の採用活動、定年後再雇用を実施 ・障がい者や外国人については、個々の状況に応じた就業環境を整備 ・キャリア研修を実施し、多様な人材の成長と活躍を支援					○			○		○							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・健康診断の実施、産業医への相談窓口の設置等により、従業員の健康管理を推進 ・スポーツイベントや同好会活動等を通じて健康増進を図るとともに、健康優良企業(銀の認定)に基づく取組を推進			○					○									
	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経 済	・「教育訓練規程」「教育訓練標準」に基づき、階層別研修を実施 ・社員向けの「eラーニング」のシステム導入、外部セミナーの提供 ・資格取得者への支援 ・キャリア研修を実施し、従業員の能力開発およびキャリア形成を支援				○				○	○								
	【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経 済	・「給与規程」に基づき、同一労働同一賃金等の原則に沿った処遇を実施している								○		○							

カテ ゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・全社目標として「廃棄物削減」を掲げ、各部門ごとに目標を設定、分別の徹底等の施策を実施 ・排出量の把握に加え、廃棄物の種類別内訳の管理等により可視化を進め、削減活動を推進している ・廃棄物と温室効果ガス排出量との関係性に関する社内勉強会を実施し、理解向上を図っている											○	○		○				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・全社目標として「電力使用量削減」を掲げ、各部門ごとに目標を設定、施策を実施 ・エネルギー使用量の把握に加え、使用状況の分析等により可視化を進め、効率的な利用に向けた取組を推進している ・エネルギー使用量と温室効果ガス排出量との関係性に関する理解促進を図っている							○						○					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・温室効果ガス排出量の可視化ツールを導入し、Scope1、2の排出量把握およびScope3算定に着手 ・基準年(2022年)比で2030年までにScope1、2排出量を46%削減する目標を設定 ・LED照明への切替や省エネ設備への更新等の施策を実施し、排出量削減を推進している							○						○	○				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・有害化学物質に関する最新の法令を把握し、遵守を徹底している ・使用する化学物質の管理および使用量の把握を行い、適切な管理とリスク低減に努めている				○			○					○	○					
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・化学物質規制に従い水質汚染、土壌汚染に配慮した生産活動を実施 ・製品における環境管理物質については、「環境管理物質管理標準」に従い運用 ・排水管理を適切に実施し、水質への影響低減に努めている							○									○		
	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・全社の水使用量を把握し、適切な管理を実施 ・メッキ工程において効率的な生産ラインを構築し、水の利用効率向上に努めている							○											
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	・ISO14001(環境マネジメントシステム)を取得・維持し、環境負荷低減に向けた管理体制を構築・運用している				○			○	○					○	○	○	○		
	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	・社外ホームページにて「環境方針」、環境に対する取り組みを開示 ・廃棄物削減、エネルギー使用量削減、温室効果ガス排出量等の環境負荷低減に向けた取組状況や目標について、継続的に情報発信を行っている													○					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	【予定】再生可能エネルギーは未導入であるが、温室効果ガス排出量削減目標の達成に向け、導入を検討している							○							○				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	・コピー用紙、FAX用紙、名刺等について、FSC認証紙への切替を実施し、持続可能な資源利用に配慮した調達を推進している														○	○	○	○	
公正な事業慣行	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・廃棄物の分別徹底や再生可能廃棄物の集計により、リサイクルの推進を実施 ・製造工程において梱包材のリユースや通い箱の活用を推進 ・製品の小型軽量化を通じて、資源使用量の削減に取り組んでいる							○					○	○	○	○	○		
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・「就業規則」「企業行動基準」を定め周知、入社時に研修を実施 ・全社員を対象にコンプライアンス教育を年1回実施している。																	○	
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・「就業規則」「企業行動基準」を定め周知、入社時に研修を実施 ・全社員を対象にコンプライアンス教育を年1回実施している。																	○	
	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・「工業所有権管理規程」、「特許管理手順」に基づき、特許、商標等の取得および、管理を実施 ・製品開発において特許侵害調査等を実施し、知的財産の適切な保護に取り組んでいる									○	○								
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・「個人情報保護規程」「情報漏えい事案等対応規程」を定め、社内周知のうえ適切に運用している																	○	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	・顧客からの要請に応じ、サプライヤーに対する紛争鉱物調査を実施 【予定】調査結果の管理および継続的な対応に向け、体制・仕組みの整備を進めている																	○	
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	【予定】取引先に対するESGに関する要請については未整備であるため、方針の策定および周知、契約や取引先監査への組込みにに向けた検討を進めている 【予定】サプライチェーン全体でのリスク低減に向けた取組を推進						○				○		○	○	○	○	○	○	

カテ ゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・「品質・環境統合マニュアル」、標準、手順を策定し運用し、製品の安全性および品質を確保するための管理体制を構築している			○									○						
29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・ISO9001(品質マネジメントシステム)を取得・維持し、品質マネジメント体制を構築 ・「品質・環境統合マニュアル」および標準・手順を策定・運用し、顧客に対して安定した品質の製品・サービスを提供する体制を確立している									○									
30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・製品開発時に関連する環境法規制および当社基準への適合確認を行い、材料選定等において環境負荷低減に配慮した設計に努めている						○						○	○	○	○			
31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・当社製品は主に部品として各種機器に使用されているが、再生可能エネルギー関連機器や省エネ設備、ロボット等に採用されており、間接的に社会課題の解決に貢献している	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・各事業所において対象法令や条例を管理・遵守するとともに、環境負荷低減や安全確保に配慮した事業運営を行っている				○					○		○	○		○	○		○	
33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・日本赤十字等への寄付 ・高校生向けのインターンシップ開催等を通じた次世代育成支援 ・地域の交通安全活動への参加				○							○			○	○		○	
34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済	・近隣高校との交流やインターンシップの実施を通じて、地域人材の育成および活用に取り組んでいる								○	○		○	○	○					
35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内十分に浸透している	基本	社会	・「法規制チェック表」を作成し、対象法令について年1回の見直しを実施し、遵守状況を確認している ・関連する法令に関する社内勉強会を実施し、法令遵守に関する理解の浸透および意識向上を図っている																	○	
36	【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・サステナブルビジョンおよびマテリアリティを策定し、社内外への公開・周知を実施 ・マテリアリティに基づく取組の浸透を図り、組織全体での推進を行っている									○	○							○	
37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・「法規制チェック表」を作成し、対象法令について年1回の見直しを実施し、遵守状況を確認している ・内部監査を年1回実施し、法令遵守体制の有効性を確認している																	○	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	・総務部およびサステナビリティ推進部を中心に、関係部門と連携しながら対応している																	○	
39	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・「リスクマネジメント基本規程」を定め、リスクマネジメント委員会を設置し活動 ・気候変動に関するリスクおよび機会の特定・評価や、各種リスクに関する分析を実施し、全社的なリスクマネジメント体制の強化を図っている																	○	
40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会	・「企業行動基準」に基づき、CSRの取組を推進 ・全部門を対象とした社内勉強会を実施し、CSRに関する理解の浸透を図っている ・関連文書の最新版管理を通じて、適切な運用体制の整備および継続的な改善に取り組んでいる																	○	
41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	・社外ホームページ等を通じて、情報開示を行っている ・問い合わせ等に適切に対応し、ステークホルダーとのコミュニケーションを図っている																	○	○
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・「リスク分類表」、「BCP」を作成し定期的に見直しを実施 ・リスク分類の精度向上を図るとともに、気候変動等を含む各種リスクを踏まえ、事業継続性の確保に向けた体制強化を推進している									○		○		○				○	

43

【その他独自に行っている取組】

[illegible]